

参考－リーディングプロジェクト（重点施策）

各方針による具体的施策・取り組みの中から、早期の着手が可能な施策や取り組み、さらには早期の着手が必要な施策や取り組みについて、これまでの委員会やワークショップの検討から、下に示す5つの施策をリーディングプロジェクト（当面の重点的な施策）として位置づけました。

リーディングプロジェクトとして位置づけた5つの取り組みについては、各基本方針の目標を達成するための基本的な要素と成り得る取り組みであり、他各種施策（広域的な交流・連携、人財の発掘・育成など）への波及的効果も高い施策として捉えることができます。

特に、「ビジョン推進・支援組織の仕組みづくり」については、流域住民や活動団体による各種ビジョンの施策の展開を支えていく上での最重要課題であり、民間と行政との情報の共有化や各取り組みとの連携を図りながら早急な取り組みが必要です。

リーディングプロジェクト（重点施策）

- 1 水源の森プロジェクト（方針－1）
- 2 桜守（さくらもり）プロジェクト（方針－2）
- 3 資源発掘・パッケージ化プロジェクト（方針－3）
- 4 ビジョン推進・支援組織の仕組みづくり（方針－4）
- 5 情報発信プロジェクト（方針－5）

重点施策－１ 水源の森プロジェクト

概要

ブナの原生林は西中国山地の自然を代表するものですが、江の川の水源地域はこの西中国山地の東端に位置し、島根県、北広島町、安芸高田市にまたがる阿佐山などブナの原生林が見られる地域があります。これらのブナの原生林を源流の象徴的な森として保全すると共に、台風によって倒木被害を受けた山林や伐採跡地においては積極的にブナやミズナラの苗木など地域に適した広葉樹を植林することで、人工林の自然林化を推進します。また、人工林の複層林化や混交林化を推進し、森林の生産力の維持、水源地域としての保水力の強化とともに森林が本来有する多様性の回復を図ります。

具体的な取り組み案

◆源流域の森を巡るツアーの開催

- ・ 阿佐山のブナ林など水源地域として重要な広葉樹の森を開発から守るための様々な対策を講じます。源流域の森を巡るツアー、分水嶺を歩くなどテーマを設定したツアーなどを行い、森の現状を把握し、その豊かな自然の持つ魅力を再確認します。

◆ブナの森魅力を伝える情報発信

- ・ ブナ林など水源地域の豊かな自然の持つ魅力や、その希少性、重要性を活動団体や自治体など様々なホームページ、会報、広報誌などで広く情報提供します。また、地球温暖化の影響等、当地域がブナの生息に必ずしも適地でなくなってきたという指摘もあります。そのような地域の身近な環境変化の状況についても警鐘を鳴らす意味で、併せて情報発信していくことが大切

す。

◆ブナの森を守る対策会議の開催

- ・ 現状を調査した上で、ブナ林を守るためにできることはないか関心を持っている人が集まり、対策を検討します。ブナ林を巡るツアーの開催、水源かん養林などとして保全地域としての指定を目指す啓発活動などが考えられます。

◆水源の森モデル林の育成

- ・ 台風被害を受けた場所など、植林できる適地を選び、ブナやナラなど広葉樹を植栽して企業の社会貢献活動や、市民のボランティアなどによってモデル林づくりを行い、里山の体験学習の場とします。資金を確保するために企業などのスポンサーを発掘することも視野に入れます。
- ・ 土師ダム周辺に設けられたビオトープや炭窯などを活かし連携した活動としていくために、土師ダム周辺でモデル林の適地を探し、水源地域のイメージづくりを行うことを検討します。



江の川源流の森



市民ボランティアによる森づくりの例

重点施策－２ 桜守（さくらもり）プロジェクト

概要

春には6000本の桜が咲き乱れ、県内有数の桜の名所となっている八千代湖ですが、多くの桜は老齢化が進み、テングス病などにかかった桜や生育不良の桜も散見され、景観を損なっている場所も一部に見られる状況にあります。

本施策は、土師の桜を後世に継承し、さらには桜の名所100選（日本さくらの会）に選定されることを目指し、行政のみならず桜を愛し楽しむ住民を「桜守」として登録し、住民との交流・協働の中で、桜の維持・保育を行っていくとともに、桜に関する様々な情報を発信していくものです。



春には八千代湖周辺に咲き乱れる桜

具体的な取り組み案

◆流域住民による桜の維持管理

- ・広報等により桜の現状を伝えるとともに、広島圏域をはじめとする広域から、桜の維持・保育に協力していただける「桜守」を募ります。
- ・登録された「桜守」は、専門家による桜の維持・保育に関する研修会を受けた後、各種の維持作業に適した時期に、実際に八千代湖周辺の桜の維持・保育に関する作業を行っていただきます。
- ・また、活動を通じて、活動のリーダーやコーディネーターの養成を図ります。
- ・作業終了後には、作業で発生した先枝や切り株などをチップに加工（スモークの原料）して、地域の新鮮な素材（肉・魚類、チーズなど）や、「桜守」の方々が持ち寄った素材を用いたスモークを楽しみます。また、希望者には原木またチップを無償で配布します。

◆イベントを活用した水源地域ブランドの確立

- ・春の花見の時季や、夏の花火大会、秋の紅葉の時季などに八千代湖周辺で開催される様々なイベントでは、作業で発生した先枝や切り株を原料として、地域の新鮮な素材（肉・魚類、チーズなど）をスモークし、「土師の桜ブランド」として訪問客に販売します。
- ・また同時に、地域の旬の素材を用いたお弁当や様々な地場産品を「本物のおいしさ」として販売します。



地元の素材を用いた産品

◆桜に関する様々な情報発信（桜ミュージアム）

- ・桜にちなんだ伝統や文化、桜を素材とした食物（桜餅・桜茶・桜蕎麦・桜漬）や商品（染め物や木工品）など、全国の桜に関する様々な事柄を収集・調査し、訪れる人たちに紹介するとともに、その技術や文化を取得・改良し、新たな桜の文化を土師の地から創造・発信していきます。

◆活動資金の確保

- ・上記で物品販売の売上金の一部は「桜保全基金」として、「桜守」の活動資金や新たな苗木の購入資金として活用する他、「桜守」の活動に賛同していただける個人や企業からも協賛金を募ります。
- ・また、「ダム水源地域サポート事業」（財団法人ダム水源地環境整備センター）等をはじめとする各種の助成を活用します。

重点施策－３ 資源発掘・パッケージ化プロジェクト

概要

水源地域や江の川をテーマとして観光やエコツアーのプログラムを発掘し、旅行会社などと共同で商品開発します。また、受け入れ態勢を整備し、観光教育の場として広島圏域に広くPRを行っていきます。

具体的な取り組み案

◆水源地域のイメージを形成する定番プログラムを発掘とワークショップの開催

- ・これまで実施されているさまざまなプログラムを皆で持ち寄り、地域で定番となる観光・体験プログラムを開発します。例えば、やまなみ大学で行われている分水嶺ツアー、名水の里紀行、ひろしまねで行われている江の川をテーマとしたリバーツーリズム、太田川たんけん協会が企画されている川をテーマとしたツアー、さらに食や地域に伝わる文化・歴史などを組み合わせ、観光・体験プログラム同時にその受け入れ態勢について、旅行会社と共同することなどにより企画・開発します。
- ・また、ひろしまねや上根・向山地域振興会で実施したような地域点検のワークショップを水源地域の各地で開催して、地域の文化や歴史をマップにして、流域で共有し、プログラムや人材の発掘を行います。
- ・そして、太田川たんけん協会が主催する学校間交流事業などと連携し、水源地域の歴史や文化、機能や役割、自然の大切さなどが学べる環境教育の場として、広島圏域の子供達の受け入れを積極的に推進します。

◆地域の名物料理の開拓とPR

- ・八千代町の女性会が開発に取り組んでいる松花堂弁当やおおあさ鳴滝温泉の地域の素材を活かした「天人合一」という四季折々の懐石料理、天恵水を使った黒滝焼酎など既に名物料理があるので、こうしたメニューを組み込んだプログラムを開発します。
- ・また、地域の名水を活かして豆腐、地ビールなど水源地域の新たな名物を開発し、地域での販売はもとより、広島市や呉市などの都市部においても、イベント等を活用し水源地域の物産を販売することにより、水源地域のPRを積極的に行います。



大朝町のテングシデの湧水



千代田町のよみがえりの水

◆江の川リバーツーリズムの開拓

- ・土師ダムの初級者対象のカヌーで講習を受けた後、江の川をカヌーでツーリングするメニューを開発します。
- ・ひろしまねで作成している江の川副読本などを活用し、「地域の歴史や文化を学ぶツアー」、「北広島町に位置する江の川の源流探訪ツアー」などの企画を行い実施します。



よみがえりの水で作った
そばと豆腐

◆桜・花火・紅葉・里山保全祭の時期に併せた露天市の実施

- ・土師ダムに多くの人々が訪れる時期に併せて、地域の特産品をPRする露天市を開催し、水源地域のPRを行うと同時に、地域の特産品を販売し活動費用を捻出します。

重点施策－４ ビジョン推進・支援組織の仕組みづくり

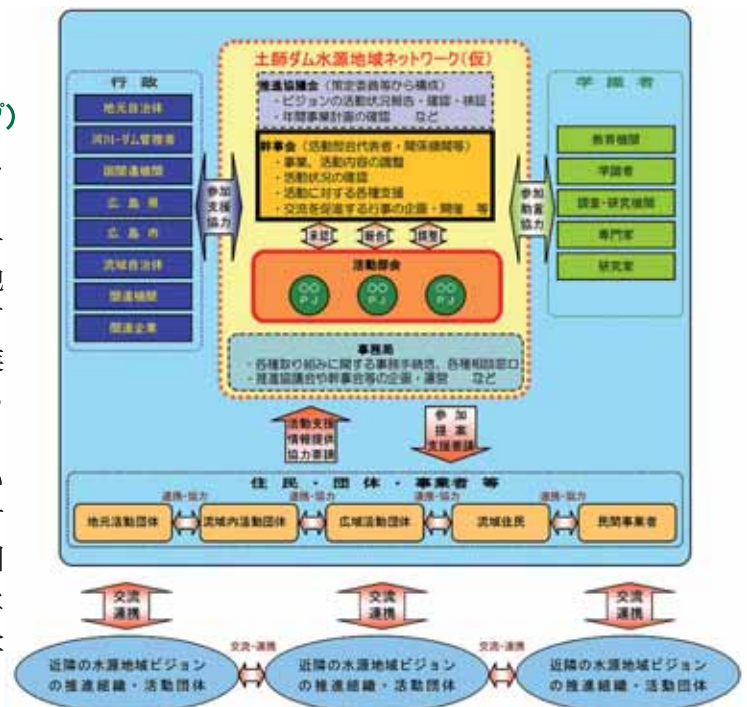
概要

自立・持続的な交流・連携活動の推進・支援組織として、「土師ダム水源地域ネットワーク（仮称）」の組織化を行い、各種の施策の推進や各団体の相談・支援の窓口の一元化を図ります。また、各関連団体・関連機関との連携を図り、「人材」、「物品」、「資金」、「情報」等を有機的にコーディネートし、必要に応じて、住民の活動に対して柔軟な支援を行える体制づくりを図ります。

具体的な取り組み案

◆活動部会（プロジェクトグループ）

- ・「森づくり部会（交流・連携による森林整備に関する活動）」や「探検部会（自然観察やトレッキングに関する課集い）」など、地域や流域で類似した活動を行っている既往の活動団体や個人、事業者、関係行政機関から構成される各種の部会を設置します。
- ・基本的には、各団体が実施している現在の活動の展開を維持しますが、同種の活動を行っている各団体間の連携を図り、さらに新たなプログラム（プロジェクト）の企画・展開を図っていきます。



ビジョン推進・支援組織のイメージ

◆幹事会

- ・各部会の代表者の他、関係行政機関により、ビジョンに基づく各種の事業や取り組みの調整の役割を担う幹事会を設置します。このなかでは、各部会からの報告も含め、ビジョン全体の進捗状況の確認の他、各種の取り組みの協力体制に関する調整、重点的な取り組みの選定、さらには「人・もの・財源」といった各種活動に対する支援についても調整を行うものとしします。また、ネットワークとして、広域的な交流や連携を促進するイベントの企画も行います。
- ・当面は、ビジョン検討ワークショップの参加メンバーの方々を中心に、準備会を立ち上げ、ビジョンに基づく各プロジェクトの実施に向けた検討を継続していきます。

◆推進協議会

- ・ビジョンの推進状況について、確認、検証を行い、ビジョン推進・達成に関わる課題や方針について専門的立場からアドバイスをを行うものとしします。また、ビジョンの見直し等も適宜検討していくものとしします。
- ・推進協議会は、ビジョン策定委員会を母体として組織します。

◆事務局

- ・土師ダム水源地域ネットワークの運営や、各種取り組みに関する事務手続き、助成などの各種相談窓口、活動の広報などを担う事務局を設置します。また事務局は、幹事会や推進協議会等の企画・運営を行います。

- ・当面は土師ダム管理所が中心となって事務局の運営を担います。ネットワークの醸成を待って、将来的には地域の活動団体等へ運営を移譲するものとします。

◆水源地域間の交流・連携

- ・水源地域の多くは、その地理的要因から過疎化、高齢化、後継者不足、活力の低下など、同様の課題を有しています。このような中、各地の水源地域においても、地域の活性化に向けた各種の取り組みが実践されています。
- ・本ビジョンの推進においては、中国地方を中心とする近隣の水源地域で活性化に取り組む活動団体（水源地域ビジョン策定ダムをはじめとして、都市との交流に関する取り組みを行っている水源地域など）との有機的な連携・交流を図り、相互の取り組みを高めていくような体制も検討します。（例として弥栄ダムや福富ダム（水水倶楽部）の活動などが挙げられます）



◆交流の拠点づくり

- ・上下流交流を促進するため、様々な活動に利用することが出来るとともに、「土師ダム水源地域ネットワーク（仮称）」の事務局として機能することができる施設として、水源地域に位置する既存施設を活用した交流拠点「地域交流センター（仮称）」の整備を行います。
- ・当面、情報コーナー（地域に関する様々な資料を保管）、交流コーナーの確保を行い将来的には展示コーナー、体験（実験）コーナー、インターネットコーナー、歴史資料保管室などの整備が考えられます。これらを利用して流域に暮らす方々が江の川をはじめとする水質や生き物などの環境情報をはじめ、流域の観光・イベント・施策・防災などの情報を共有し、交流の活発化を図るものとします。



ハジ丸館

重点施策－５ 情報発信プロジェクト

概要

流域圏の人々が水源地域の役割や機能、その恵みを享受していることに気づき、水源地域が流域圏全体の資産であることの認識を深めながら交流・連携をより一層推進していくためには、水源地域からの情報発信が不可欠です。

水源地域の役割や機能はもとより、魅力や資源、水源地域を守り育む取り組みなど、水源地域の様々な情報を、様々な広報媒体やイベント、キャンペーン等を利用して、流域圏を含む広域的な地域に対して広く情報発信を行っていくものとします。

具体的な取り組み案

◆広報・情報媒体

- ・ 広報媒体として、新聞・テレビ・インターネット・小冊子などが考えられるが、初期段階として、初期投資が比較的少なく、様々な既存情報集約（リンク）できるインターネットHPの開設を行うものとします。

◆広報・情報内容

- ・ 水源地域の紹介、イベント情報
- ・ ビジョンの公開、進捗状況の公開
- ・ 水源地域自治体、関連機関HPとのリンク
- ・ をはじめとする
- ・ 江の川文化圏会議や、流域内外の各種活動団体HPとのリンクなど、地域活性化や環境保全に関わる様々な活動の紹介
- ・ 広島大学が主催する「江の川上流域 親子川の探検隊」をはじめとする住民参加による流域の水質調査の実施状況や結果
- ・ ダムの水管理の仕組みや状況（ライブ）
- ・ 支援情報、相談窓口
- ・ 掲示板（情報提供・自由投稿） など

◆管理・運営広報・情報内容

- ・ 当面、土師ダム水源地域ネットワーク（仮称）の事務局運営を担う土師ダム管理所がHPの更新等の運営・管理を行うものとしますが、ネットワークの醸成を待って、将来的には地域の活動団体等へ運営を移譲するものとします。



「ダムの水管理情報」のイメージ



「水源地域ビジョン情報」のイメージ



「みどころ情報」のイメージ